

花水木だより

第 113 号 令和 8 年 8 月

千 種 区 鯉 城 会 会 報

発行／花 水 木 鯉 城 会



＜ 花水木鯉城会の輪を広げよう ＞

お知らせはこちらから⇒



目次

表紙		1
目次		2
巻頭言 「仲間と共に楽しむ花水木」 副会長 藺田享志		3
地域長会議開催報告		4～5
地域会だより 今池		5
振甫/若水		6
城山/東星		7
千種台/千種		8
新入会員紹介 福田会長 “新入会員の皆様へ”		9
新入会員紹介		9～11
地域ミーティング開催報告（40期生）		12
地域会交歓ボッチャ大会		13
社会奉仕委員会から		14～15
お知らせ/編集後記		15
今後の行事予定/次号予告		16

表紙の言葉

「八ヶ岳とひまわり」

渡邊 武通（19期 美術）



八ヶ岳を背に無限に広がる明野のひまわり畑
 さすが信州澄みわたる自然の恵の中おいしい
 空気の下、思う存分カメラと戯れてひと時を忘
 れてしまいました。

巻頭言

仲間と共に楽しむ花水木



副会長 菌田 享志（37 期 国際 B）

今朝のニュースでは「日経平均株価が 6 万 5 千円を付けて史上最高記録、その株価を牽引しているのが AI 企業」とアナウンサーが説明しています。今までは遠い世界であった AI が今や一般人である私達がお世話になる時代になってきたのだと思います。

今回の巻頭言も、好奇心で「鯨城会の巻頭言はどのような文章が良いのかな？」とチャット GPT に尋ねてみると、即座に「私達は鯨城学園で得た知識や経験を礎に卒業後も鯨城会を通じて学びと交流を楽しく続けています」と、まるで自分の経験を実体験した様な文章が出てきました。本当に驚きです。

さて、現実にも目を向けてみると、今日は『花水木鯨城会』の運営委員会当日で、今年度のボランティア活動の予定や、各種行事の計画について協議しています。「今年のボランティア活動はこうしたらもっと地域に貢献できるのではないだろうか？」とか「もっと鯨城会に興味を持って頂いてより多くの卒業生に入会頂けないだろうか？」など、AI とはかけ離れた生身の人間が一生懸命に協議をしています。つい 2～3 年前迄は全く知らなかった人達が目の前で懸命に語っている姿を見ながら「本当に良い仲間と知り合うことができた」「皆さんと一緒に活動している今が一番充実していて幸せ」とふと笑みが浮かんできます。

「AI に頼る事も良いけど、やっぱり本当に頼りになるのは花水木の仲間だよ」そんな声がチャット GPT から聞こえてくる気がしました。

「さあ、今日も頑張るぞ！！」

令和8年度 第1回地域長会議開催報告

地域委員会



日 時 令和8年6月25日（木）15：00～16：45

場 所 千種区社会福祉協議会 1階 研修室

参加者 地域長7名・地域幹事7名及び花水木鯨城会役員・運営委員 計20名

最初に会長より32・39期生の新入会員を迎え入れ地域会活動も充実し活発な交流ができています。また地域会活動にご尽力頂いている事に対して感謝の言葉がありました。続いて各地域長より活動報告・課題等の報告がありました。

花水木だより配布を兼ねてのランチ会や地域会独自の活動、また2～3の地域会と合同企画で活動を工夫されている様子が伝わってきましたが、各地域会も行事内容に苦慮している事、参加者の固定化傾向があるが新入会員の活発な参加で活気を得ている地域会報告も・・・

また、若い方々の参加し易い内容を若手の方々が企画をしたらどうか？マンネリ化している活動を他地域会の成功例を参考に払拭してゆくことも参考になりました。

高齢化が進み宅配者をお願いすることや地域会活動で出かけることに躊躇することもある等、活動の充実へのネックも認めざるを得ないようです。

また、地域長・地域幹事の世代交代をも中々望めず難しいところです。兼任して活動をされている方もあり特定の人に任せるのではなく、拡がりを望みたいですが、今活動できる人を永く繋げてゆけるように方向づける事も必須。

「花水木の輪を拡げよう」先輩方から引き受けた言葉を噛みしめたいものです。

地域会への参加に目がむくように各地域会毎に内容を考えて会員同士の顔の見える関係に努めてみえるようですが、新入会員の若い方々からの新しい風をも強く望みたいものです。

会計委員長より地域会費の決算報告・今年度予算について、社会奉仕委員長よりボランティア活動協力をお願い、行事委員長より地域会交歓ボッチャ大会、日帰り旅行、趣味の作品展、16区フェスティバルの説明があり会員への周知の願いがありました。

また、会長よりイオンイエローレシートキャンペーンにて寄贈されたギフトカードでコピー用紙・

お茶等を購入し有効活用して頂くよう配布した事、新たに社会福祉協議会の賛助会員として団体加入（花水木鯉城会）した旨報告がありました。

会議終了後は、社会福祉協議会の花壇の手入れを予定していましたが、雨天にて断念いたしました。

第二回の地域長会議は、令和9年1月を予定しています。各地域会が協力して活動した新たな取り組みや新入会員・若い方々の積極的な企画活動報告等々期待したいと思います。



地域会だより

今池地域会



地域長 福田由美子（28期 福祉）

本年度は、今池地域会に39期生の新入会員はなく、3名会員減少で18期から37期の23名でスタート。

例年通り年4回の花水木だより配布を兼ねての地域会開催（5・8・11・2月）と公園清掃当番（7・2月）が主な活動となります。

近郊公園でのお花見会や暑気払い、他地域会との合同お花見会やクリスマス&忘年会等行っています。

地域会行事の参加人数が少ない時もありますが、顔なじみで和やかなご近所会となっています。

地域会行事に参加できない会員の方々も個々にボランティア活動、趣味を生かした活動等でご活躍です。

今後も益々交流を深め、お仲間が集い合える居場所となるよう努めたいと思います。

参加できない先輩方へも時々「お元気ですがレター」もお届けしたいとも考えています。

振甫地域会

地域長 大村 悦郎 (30 期 生活 A)



振甫地域会は、小学校区の“上野学区”と“みやこ学区”（旧大和学区）の会員の皆様で構成されています。現在、25 名で、3 年来の減少に転じています。新規会員が少なく皆様様に年を重ねてゆきますので、ひとときやむを得ないことと思っています。

振甫地域会では、学区ごとの“ブロック長”のご意見を頂きながら行事の報告と計画案をまとめ、年度初めの総会にて会員の皆様に承認を頂いています。その上で花水木鯉城会のボランティアほかの行事をご案内するほか、四季折々に地域会独自の見学会、鑑賞会や食事会などを実施しています。特に最近では、より多様な行事に参加希望があるため、若水地域会との合同行事を計画をしたり、複数の地域会の行事にご一緒させて頂くこともあります。

地域会独自行事では、より多くの皆様に参加できる行事“案”にいつも悩んでいます。自然散策などは日常を離れて気分転換になり、皆でランチなど楽しく語り合う場があって史跡など見学すれば若干興味がわく。多くの方が訪れた経験がある場所もありますが、皆と一緒に時の移ろいを語るのも楽しいのではないかと考えています。会員の皆様もこれまでの行事の感想やお気に入りの目的地など是非お聞かせください。

若水地域会

地域長 山本 一 (23 期 生活 A)



若水地域会は会員数 36 名【高見学区（28 名）春岡学区（8 名）】で、期別では 16 期～39 期まで広範囲となっている。なお、男女比は男性の方が少し多い（男性 20 名、女性 16 名）です。

当地域には、ユリの名所で知られる「千種公園」その近くには「すいどうみち緑道」等もあり、自然環境が豊かです。

年間行事等としてランチ会 4 回、公園清掃、社会見学（振甫地域会との合同行事）春のお花見、忘年会（いずれも今池地域会、振甫地域会との合同行事）等を実施しています。春のお花見、忘年会等他の地域会との交流で幅広い活動ができる事で更に地域会活動を活性化しています。ランチ会では、食後にマジック、ハーモニカとウクレレの伴奏に合わせて歌ったりして楽しいひとときを過ごしています。ランチ会、行事等参加者がやや固定化しているので会員の皆様が声を掛け合って気軽に多くの方に参加していただき、楽しい地域会を目指したいと思います。



城山地域会

地域長 木村 達哉 (31 期 地域 A)



東山線池下～本山駅に沿って東西に位置し、田代学区と見付学区からなる城山地域は、織田・徳川ゆかりの史跡や名刹、揚輝荘等、文化財が多く見られる地域です。

今年度の新入会員 4 名で会員数 35 名 (男性 24 名、女性 11 名) で昨年から 2 名減の 35 名です。昨年度の活動は 8 月に宗次ホールコンサート鑑賞、11 月にスペース R (特別会員吉田さん主催) サックス演奏鑑賞行いました。前地域長から引継いだ「楽しい花水木鯉城会・元気な城山地域会」を目指し頑張っていきたいと思っています。今年度の抱負としては、(1) 行事への参加者を増やす。「封入チラシ」のほか効果的な案内・周知の手段を考えます。(2) 社会見学、食事会、美術館・博物館見学等魅力ある企画を考えます。会員の皆様から「楽しかった」と言ってもらえるよう楽しい地域会を目指したいと思っています。

東星地域会

地域長 木下 幸紀 (25 期 地域)



今年度の東星地域会の会員数は、先日 1 名の退会があり、現在 33 名です。当地域会の永年の課題は「新入会員を増やすこと」「地域会行事の参加率を高めること」の 2 点でした。

このうち、前者については、今年が 5 名、昨年も 5 名、一昨年在 3 名と、この 3 年間で 13 名の新入会がありました。これは現会員数の 4 割近くに及んでおり、近年順調に会員増になっていると言えます。また、もう一方の参加率については、今年の 4 月 26 日に鹿の子公園で開催した BBQ パーティに 16 名の参加があり、5 月 14 日に東山植物園内の東山ガーデンで実施した新年度の集いが 18 名の参加で、参加率がともに 5 割でした。これまでの行事参加率が 3～4 割でしたので、これも増加傾向にあると言えます。

まだ、課題を克服したとは言えませんが、望ましい方向に着実に進展しているものとみられます。今後、ワクワク・ドキドキの楽しい行事を企画・立案し、皆様への案内を周知・徹底することによって、さらに参加率を高めたいと考えています。

千種台地域会

地域長 西脇 弘善 (29 期 地域 B)



千種台地域会は皆様御存知の様に、千種台中学校の範囲に関係する「富士見台学区」と「自由ヶ丘学区」の二つの学区が対象となっています。地下鉄名城線の「茶屋が坂駅」「自由ヶ丘駅」「千種消防署」「がんセンター」「茶屋が坂公園」「鹿子公園」等々多数の設備があり、生活するには大変便利な所と感じています。その二つの区域内にて鯉城学園を卒業されました皆様の内、花水木に入会されました皆様が会員として認められることとなります。私が卒業し入会した時は10年ほど前になりますが、35名程の多くの会員だったと記憶していますが、残念なことには、本年は退会者が多く7名減となり、22名となってしまいました。新入会員の方は、本年0人であり、厳しい状況にあります。しかし少数精鋭主義にて頑張らましようとして先日の総会にも皆様をお願いしたところです。花水木の活動行事には率先して参加し、頑張っていますし、千種地域会とは年2回の合同行事にて15、6名にて昨年の11月には私達千種台の主催により港区にあります「JR 鉄道リニア館」にてドクターイエロー見学会を計画実施し、本年3月には千種地域会により「大須演芸場」にて「真打昇進披露興行」を鑑賞してきました。昨年の花水木ボッチャ大会では、3位の成績をあげることができましたから、本年はさらに上位をめざして頑張ろうと計画しているところです。まだまだ多くの事を皆様に報告したいのですが、紙面も限られています。どうか会員になっていただいた限りは、活動計画に積極的に参加していただき、友達作り、仲間作りに大いに活躍されますよう切にお願い申し上げます。

千種地域会

地域長 長谷川 源 (31 期 福祉)



千種地域会の会員は男9名、女14名の全員で23名です。令和8年度第1回例会(5/10)は香流橋地域センターに15名が出席して行われました。さて、最近私は年に4回ある地域会例会及び出席者それぞれの近況報告の重要性を再認識しています。第一にとにかく出不精になりがちな高齢者にとって、地域会に出席すると3か月ぶりに出会う顔に、お互い無事に出席できたことで自然に笑顔になる。第二に近況報告は高齢者にとって、大勢の人の前で話をするのはめったにないので、自分の声で大勢の前で報告することは脳に刺激を与え良い影響を与える。以前私は近況報告を会議の後のほうにして、まずは運営委員会報告等を1番目にしていました。ある時、他の地域会の方が近況報告を1番目にしているのを聞いたので、訳を尋ねると「運営委員会報告等はさほど重要な話はないでしょう」と言われた。確かにそれ程重要な報告なら欠席した人にも連絡しなければならないが、そんなことはやったことがない。連絡しなければいけないことは花水木だよりやチラシにのせてある。それより地域会例会で1番大切な事はみんなの顔を見て安堵して、それぞれが近況報告をすることだと思います。

新入会員（32・39 期生）のご紹介



新入会員の皆さまへ

会長 福田 由美子（28 期 福祉）

新入会の皆さまをお迎えし、新たにお仲間が増え「花水木の輪を広げよう」の言葉通り縁ある気の合った方々と共有する時間を持てる幸せを感じています。人生の大先輩からのご指導も、また新入会の皆さまの積極的で新しい視点・感性で刺激をいただき、共に成長できることに多大な期待をしています。

共に魅力ある花水木鯉城会を育ててゆきましょう。



池田 陸人（国際 B）



32 期（国際 B、郷土史クラブ）池田陸人です。卒業後 7 年間は郷土史 OB 会の役員業務を優先するため鯉城会には入会しませんでした。この度、中途入会させて頂きました。趣味は歴史で、名所・旧跡巡り、講座聴講、TV 録画視聴など歴史全般です。花水木鯉城会はとても活発ですが、無理をせず、できる範囲で参画しますので宜しくお願いします。

菊間 啓子（歴史と文化 B）



千種区に住み始めましたのは子育て中の 1982 年です。6 年間住んでいましたが、夫の転勤で北海道、次は埼玉県へと移りました。1999 年に「千種区がいい、ここでずっと暮らそう！」と決めて二人で戻ってきました。

鯉城学園のクラブは歩いて知ろう会で、様々な場所を見学しました。ピース愛知、自衛隊守山駐屯地では、平和の尊さを実感しました。

千種鯉城会では地元の皆様と楽しく語らい、ボランティアにも参加したいと思います。皆様宜しくお願いいたします。

山田 勝代（健康と福祉 A）



鯉城学園に入学してクラブはハイキングクラブに入りました。主に低山登山で、ほぼ毎週出かけました。一年生の時は、先輩についての山行でしたので、ただ楽しい山登りでした。二年生になると、自分達を中心となり、いろいろ進めていく上で、厳しい言葉をかけたり、わがままを通してしまう事もありました。ですが、愉快的なメンバーに恵まれてとても楽しい日々でした。

大塚 英昭 (国際 A)



趣味として登山やアマチュア無線をやっておりましたが、鯨城学園でオカリナクラブに入部してから楽器演奏に興味がシフトしています。

卒業後もオカリナクラブの同期の仲間と定期的に練習をしており、また鯨城会へ入会してハーモニカクラブにも入れていただきました。所属いたしました広報委員の先輩からウクレレを教えていただけるような話もあり、今から楽しみにしております。宜しくお願いいたします。

野田 道典 (国際 B)



39 期国際 B 卒業の野田道典です。鯨城学園は知り合いの先輩に誘われて入学しましたが、それまでその存在すら知りませんでした。のんきな気持ちで入学したのですが日程も内容も私の想定をはるかに超えたものでした。体調に不安のある私には通学もむずかしかったのですが、優しい仲間恵まれてやっと卒業できました。そんな私ですので鯨城会も入れていただいただけで何の活動もできないままで申し訳ありません。

これといった趣味も特技ありません。当面はわずかにできる範囲での参加でお許しいただくようお願いいたします。

日下 雅巳 (音楽 A)

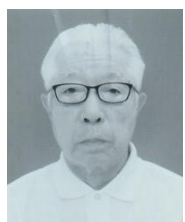


大阪生まれの大阪育ち。学生時代は野球に明け暮れる日々でした。就職で愛知県本社へ来ましたが、赴任地の愛知、東京、海外を通して様々な経験を積まさせていただきました。鯨城学園へは、妻の勧めで入学し、今春、卒業いたしました。これまで自分があまり一生懸命に取り組まなかった講座「音楽」と全く素人でただ、脳トレにいいというだけで「囲碁クラブ」に入部。今では囲碁の世界にどっぷりとはまっています。

また、学園時代には、訳あってクラス代表と学生協議会を務めましたが、そこでボランティア活動の大切さを再認識しております。

若輩者ですが、どうぞ宜しくお願いいたします。

山本 隆男 (園芸)



39 期で「園芸」を専攻し、二つのクラブで活動し卒業しましたが、41 期に再入学して専攻科目の「暮らし」とクラブ活動でこの先 2 年間過ごすことになりました。よって、この花水木鯨城会への入会は 2 年先にと考えたのですが、役員さん方の勧めもあり、今回入会してお世話になることになりました。学園、専攻科目、各クラブの OB 会にすべて入会しましたので、予想外に過密日程となり、花水木鯨城会には十分の活動は出来ませんが、都合のつくかぎり、活動したいと思いますのでよろしくお願いします。

浅井 富士子（国際 A）



周囲からの情報で 60 歳定年退職後はいつか鯉城学園で学ぼうと思っていましたが、自由になってやりたいことが多く、なかなか週 2～3 日学園へ通う時間が作れないまま 80 歳を過ぎ、まだ時間的余裕が作れないままでしたが 39 期生で入学して、国際 A・社会研究クラブで時々お休みしながら学園生活を謳歌しました。花水木鯉城会に入会して、これまで全く無関係だったご近所の方との交流が芽生えて、いろいろな関りを嬉しく思います。どうぞよろしくお願いします。

山腰 眞佐子（健福 B）



若い時に少し社会福祉について学んだことがあるが、それを仕事において役立てることはできなかった。定年退職したら何か社会に役立つことをしたいと考えていたのに、身体をこわして夢から遠のいてしまった。だからというわけではないが今できるボランティアを無理のない範囲でやってみたいと思っている。皆さん、よろしくお願いします。

栗山 武（美術）



趣味

- ① ミニテニス ② バウンドテニス ③ 卓球
- ④ ボウリング ⑤ アーチェリー ⑥ グラウンドゴルフ
- ⑦ 水墨画 ⑧ カラオケ

鯉城学園での思い出は、水墨画クラブの卒業展にて栄市民ギャラリーの「今週の一枚」に選ばれたことです。花水木鯉城会ではいろいろなクラブに参加することが楽しみです。

❀ 新入会員（39 期）の皆さんです。 ❀

名 前	専 攻	名 前	専 攻
池田 陸人 (32 期)	国際 B	野田 道典	国際 B
栗山 武	美術	浅井 富士子	国際 A
菊間 啓子	歴文 B	日下 雅巳	音楽 A
山腰 眞佐子	健福 B	檜澤 三枝子	園芸
山田 勝代	健福 A	青山 吉郎	健福 A
大塚 英昭	国際 A	山本 隆男	園芸
川瀬 由子	園芸	森 玲子	国際 B

40 期生(第 2 回)地域ミーティング開催

会長 福田 由美子 (28 期 福祉)

日 時 令和 8 年 6 月 8 日(月)・11 日(木) 午前 10 時～11 時 30 分

場 所 千種区社会福祉協議会研修室・調理室

花水木鯉城会と千種区社会福祉協議会が連携し地域社会奉仕活動を体験し、「地域活動の核となる人材育成」を目的に、また卒業後の活動に繋げる内容で、8 日 9 名、11 日 13 名の参加で開催されました。

鯉城学園からは、副学長 廣田先生、地域活動支援員・学務主任の原田先生をお迎えしました。



原田先生の説明



画像を使い説明



熱心に聴講される 40 期生

運営委員会・地域会・同好会を含め花水木鯉城会の組織と活動内容を写真等々組み込んだ画像を使い、分かりやすく説明をいたしました。

千種区社会福祉協議会の活動内容も分かりやすく説明があり、その後はデイサービスでのボランティア活動の見学とコーヒーサロンのスタッフにより準備されたコーヒーを楽しみながらのアンケート記入をして頂きました。

二日間同じ区に居住する同期生、花水木鯉城会会員との和やかな雰囲気での交流できた地域ミーティングであったと思います。

来年度一人でも多くのお仲間が増えることを願っております。

☆雑 感☆

体験学習による地域ミーティングの開催。在籍学生数 48 名。会場が手狭で専攻別に二日間に分け案内を致しましたが、出欠確認表の不提出、欠席者数の多さに驚きました。卒業後の居場所のひとつが鯉城会です。楽しいお仲間の輪に・和にお誘いをしたく・楽しさをお伝えしたく、皆様のご参加をお待ちしていましたが、足が向かなかった原因は何だろう？…が、私たちの課題です。



第2回 地域会交歓ボッチャ大会開催

行事委員長

藺田 享志 (37期 国際B)

2026年7月15日(水)、今日は昨年に続き第2回目のボッチャ大会当日です。今年も7地域会から14チーム、運営委員会から2チーム、合計16チームが会場である「モビリティゲート吹上」に集合し大会が開催されました。



開会式 福田会長挨拶
左は二宮審判長



会場には16チームの選手が集合



2Fは2コートで熱戦

この日に備えて練習を重ねたチームもあれば、今日が初めての初心者もいます。会場は和気あいあいの良い雰囲気でスタートしました。予選は4コートに分かれ、各コートにて4チーム総当たり戦で上位1位を決めます。決戦は4コートでの1位が集まって4チームでの勝ち抜き戦です。

ボッチャは見てみると簡単そうだが、戦略と技術が必要な結構難易度の高いスポーツでもあります。ルールはシンプルで目標となる“ジャックボール(的の白球)”にいかに近づけるかを競うが、氷上のカーリングと同じく、相手ボールを押し出したり、敵がジャックボールを狙いにくいように手前にブロックボールを置いたりとは中々高度な術も必要とします。

決戦ともなると、選手も真剣モード、投球にも熱が入ります。1球ごとに勝敗が逆転し、応援していても見ごたえのある競技となりました。結果は振甫地域Aチームが優勝、お見事でした。接戦の末、準優勝は千種台Bチーム、3位は若水地域のAチームとBチームでした。おめでとうございます。

このボッチャという一見地味だが奥深く楽しい競技、今年は同好会も出来て益々盛んになりつつあります。既に来年の大会が楽しみです。今日1日大変お疲れさまでした。

今日はゆっくりお休みください。



1Fでは予選の他に決勝戦も



振甫Aチームが優勝賞状と金メダルの獲得



今池地域会の森さん
杖の音を聞き分けて
ストライク

社会奉仕委員会から

社会奉仕委員長

白川 すみ子 (34 期 地域 A)

♡クリーンキャンペーン名古屋・2026

◆6月6日(土) 星ヶ丘学区 16名参加

初めて参加された39期の山腰眞佐子さん(若水地域会)から感想を頂きました

「私は長年清掃登山(ボランティア)に参加してきましたが、市のメイン道路の清掃を行ったのは初めてでした。ゴミは多くなく拾う人達で競争状態でした。花水木鯉城会以外の参加者には家族連れの方々もあり地域での参加呼び掛け等によるものと思われ自治会活動がしっかりしている事を感じられました。メイン道路は事故も多いので今後も事故の無いよう十分注意を払い続けたいと思います」



活動中のメンバー
←参加された方々→



♡鶴舞公園クリーンキャンペーン

◆6月13日(土) 鶴舞公園東側北寄りエリア 17名参加

39期の栗山武さん(振甫地域会)からコメントを頂きました。

「学園では参加しませんでしたでしたが、今回初めて参加しました。大変綺麗に管理されており清掃の成果は出せませんでした。早く終了しましたので、公園の音楽堂と噴水の水墨画を描きたくなり写真を撮りました。後日、水墨画を作成する楽しみが出来ました。次回も日程が空いていれば参加させていただきます」



鶴舞公園は
とても
クリーンで
した



同じく39期の山田勝代さん(若水地域会)の感想を紹介します
「ほとんどゴミは落ちていませんでしたが、吸い殻1本と使い捨てライターを拾いました。大人のマナーの悪い事が気になりました」

初参加の方はじめ、皆様のご協力ありがとうございました。

♡新会員対象公園清掃研修会

毎月恒例の茶屋ヶ坂・鹿子公園の清掃ボランティアに多くの新会員の皆さんが初参加されました。ありがとうございました。お陰で公園が大変綺麗になりました。

◆5月3日(日) 茶屋ヶ坂公園 新会員5名参加

◆5月17日(日) 鹿子公園 新会員6名参加

★千種児童館での七夕まつり飾りつけボランティア

◆7月4日（土）千種児童館にて「七夕まつり」があり、笹の葉飾りを子ども達と作るボランティアに花水木から7名が参加しました。色紙とハサミ、ノリを使い、可愛いお子さんたちと悪戦苦闘、織姫と彦星、スイカのデコレーション、貝繋ぎ、短冊等々いっぱい作って七夕のお祝いが出来ました。たのしいボランティアは子供さんに遊んでもらって沢山の笑顔から元気を貰いました。



七夕まつりボランティアメンバー



花飾りを作っています



笹の葉に飾りつけ

♡ボランティア活動保険加入のご案内

花水木ではボランティア活動される皆さんに対して、安全の確保と事故補償を行うために「ボランティア活動保険」への加入を勧めています。保険料は年間 250 円ですが会で負担しますので皆さんは地域長を通じて申し込みをしてください。結構です。

補償内容の例……ボランティアをしようとして自宅を出てから帰宅までの事故に対して補償されます…途中の事故・熱中症・物を壊した・他人にケガさせた等々対象になります。活動される方は必ず申込み加入してください。

お知らせ

運営委員会よりお詫び

5月に発行の「花水木だより 112号」の8ページ「令和8年度事業活動計画」に誤りがありました。下記のように、訂正させていただきます。

令和8年度事業活動計画

■令和9年 新年懇親会 1月8日（金）→正しくは1月15日（金）（会場都合）

■令和9年 名古屋ウィメンズマラソンボランティア

3月7日（日）→正しくは3月14日（日）です。

上記訂正の上、お詫び申し上げます。

編集後記

今年度新しい会員の方々を迎え、花水木は活発な活動を続けています。様々な新イベント企画が実施され今後も素敵な計画が執り行われます。今回の「花水木だより」では新会員のご紹介や、各地域会の活動をお伝えしました。

広報委員長 加藤 ひろ子

hiro.a.chan2@gmail.com

広報副委員長 仙田 正典

広報副委員長 大澤 之夫

広報委員 杉本 周一

海老原 史樹文

大塚 英昭

浅井 富士子





今後の行事予定



日帰りバス旅行

期 日 令和8年9月14日（月）

行き先 琵琶湖竹生島上陸クルーズ 長浜黒壁スクエア街並み散策
グランドメルキュール琵琶湖リゾート&スパ



第23回 趣味の作品展

期 日 令和8年10月14日（水）～18日（日）

場 所 愛知芸術文化センター12F アートスペースH



第25回 グラウンド・ゴルフ交歓会

期 日 令和8年10月21日（水） 予備日10月28日（水）

場 所 庄内緑地公園



第15回 堀川清掃大作戦

期 日 令和8年11月14日（土）



第9回 16区フェスティバル

期 日 令和8年11月19日（木）

会 場 東スポーツセンター

次号予告 花水木だより 114号
封入日 令和8年10月30日（金）
発行日 令和8年11月3日（火）



花水木だより 113号

発行者 名古屋市高年大学 花水木鯉城会
名古屋市鯉城学園
発行日 令和8年8月4日（火）
発行人 会長 福田 由美子
編集人 広報委員長 加藤 ひろ子